

D データの活用「D（1）データの分類整理ア（ア）」

二つの観点から分類整理するための表を用いて表したり，そうした表を読んだりする学習で身に付けた知識及び技能を活用・発揮して，身の回りの問題場面を考えることができる問題のアイデア

ねらい

二つの観点から分類整理された表を読み取り，表の値を求めることができる。

学習課題（めあて）

文を読み，表の数字を求めよう。

問題のアイデア

【問題】『2問とも正解せいかいした人は、何人』

あきこさんの学級の帰りの会で、クイズかかりが、クイズを2問だしました。

つぎの文や表をヒントに、2問とも正解せいかいした人は何人いるか、もとめましょう。

- 学級の人数は32人です。
- 第1問に正解した人は15人です。
- 第2問に正解した人は18人です。
- 2問ともまちがえた人は7人です。

クイズの結果けっか (人)

		第2問		合計
		○	×	
第1問	○			15
	×			
合計				32

- …正解した人数
- ×…まちがえた人数

解答

クイズの結果 ^{けっか} (人)

		第2問		合計
		○	×	
第1問	○	8	7	15
	×	10	7	17
合計		18	14	32

2問とも正解した人は、8人です。

問題の魅力

- 二つの観点から分類整理するための表を用いて表したり，表を読んだりする学習を身近な場面の問題として考えることができる。
- 二つの観点で分類整理した表では，起こり得る4つの場合が考えられ，論理的に起こり得る場合を調べたり，落ちや重なりがないように考えたりする力が求められている。児童にとっては，難しく感じる事が予想されるため，ヒントをたどりながら問題解決を図ることができる。